

5-2 支部助成審査検討WG

1. 主な活動の記録

(1) 支部助成審査検討WGの開催

令和2年8月18日にWGをメール審議により開催し、各支部から出された助成申請を審査した。

(2) 活動の目的

本WGの目的は、支部助成金審査ガイドラインに沿って、各支部申請活動の目的を審査し、交付する助成金を整理し、常任委員会（中期行動計画関連）へ提案することである。申請に対する採択の判断規準は、「ガイドライン」に従い以下を基本とする。

- a) 協会の社会貢献活動にふさわしいもの
- b) 一般市民を対象とし、協会活動への理解が深められるもの(会員を主体としたものは、場合により一部除外も考慮)
- c) 公共事業のあり方などを発注者に働きかける活動

(3) 令和2年度の活動

支部から申請された活動予定案件に対してWGを開催して審査（メール審議）し、支部助成金の趣旨に沿うか沿わないかを吟味・確認し、今年度の申請案件は基本的にすべて採択した（当初29件）。しかし、今年度においては、各支部の活動予定が、新型コロナウイルスの影響を受けるものもあるため、助成金配分時には、当初配分とコロナ禍の状況を踏まえ実施後に配分とに分けて、助成金の執行をするものとした。その結果、最終的に別表のように24件が実施され(コロナ禍で実施されなかった案件が5件)、実施案件の助成金の実績総額は1,629万円であった。それぞれの活動は協会の活動方針に即しており、有効なものであると判断した。

なお、助成対象となる活動については、社会貢献活動、広報活動、発注者への各種働きかけ等とされており、協会会員を対象とした支援を意図した活動は対象としていない。申請事案において、会員、非会員双方を対象とした企画についてはその助成金の取り扱いについては、今後の検討課題

である。

2. 次年度の活動について

次年度も、予算枠は2,500万円を基本として「ガイドライン」に基づき募集・審査を行う予定である。本助成金は中期行動計画の支部での実践活動を助成するものであるが、各支部は工夫を凝らした多彩な活動を展開していると考え

令和2年度 支部助成金支給実績

支部	活動名	助成額 (千円)
北海道	① 大学・高専生への広報活動の継続	150
	② 建設コン等広報冊子の増刷・配布	620
	③ 出前講座の継続	242
東北	① R2年度高校生「橋梁模型」作成発表会	300
	② 建設コンの仕事とその魅力冊子制作	500
関東	① 「グローバル関東」発行	2,300
	② 出前講座	400
	③ 大学生への情報発信(WEBサイトの構築)	200
	④ まちづくりや環境保全テーマの講習会	100
北陸	① 建設コンPR冊子及びPRグッズの制作	1,245
	② 出前講演等	865
	③ 「合同企業セミナー」への参画	200
中部	① 中部の広報活動の推進	1,620
	② 地域への貢献活動	380
	③ 自律した技術者の育成支援活動	250
近畿	① 近畿の社会資産共有活動	800
	② 建設コンサルタントの魅力発信活動	700
中国	① 社会貢献活動への参画	1,200
	② 地域貢献と建設コンの認知度	1,200
	③ 魅力ある建設コンの広報活動の推進	150
四国	① (1)支部広報誌「jcca しこく」の発行 (2)大学・高専・高校へ業界説明会の実施	720
九州	① 地域の夢・アイデア募集事業	650
	② 地域の夢・アイデア交流事業	1,500
	③ 地域の夢・アイデア人材育成事業	0
合 計 (24件)		16,292

(支部助成審査検討WG WG長 三百田 敏夫)